

ファンドレイジング・スクール

第4期説明資料



日本ファンドレイジング協会
Japan Fundraising Association

社会を変えるプロフェッショナル
ファンドレイザーを生み出す



日本ファンドレイジング協会
Japan Fundraising Association

地域別、専門領域毎のファンドレイザーのネットワーク、チャプターがあります。知見・ノウハウの交流に留まらず、一人ひとりの夢や想いを応援し、新しいイノベーションを生み出す場です。



スキル
新たな
アイデア

実践的
な
ネットワーク

最新
の
市場動向

いぞう寄付の窓口



ファンドレイジングの入門から、実践研修まで、ファンドレイジングに必要な全体系を提供します。オンライン講座が豊富でいつでもどこでも学習できます。年次カンファレンスでは、国内外の成功事例を一挙公開します。



社会をより良くするために必要なこと(寄付文化の醸成、社会的インパクト・マネジメント、遺贈寄付の推進)を、マルチセクターで協働し、実現します。



認定講師
26名

認定ファンドレイザー
108名

包括的なファンドレイジングのスキル
を備えたプロフェッショナルファンドレ
イザー

准認定ファンドレイザー
1130名

ファンドレイジングの基本的な要素
を身に着けたファンドレイザー



ファンドレイジング・スクール

修了後の姿

どんな組織や、いかなる状況であっても、
経営資源を獲得し、組織と事業を成長させら
れる、実践力を発揮できるファンドレイザー

ファンドレイジング・スクールの

6つの特徴

その1

日本で一番「実践力」がつく

学びの場

その2

お互いに刺激し合うことができる

一生の仲間との出会い

その3

自団体のファンドレイジング

戦略の作成と実践

その4

ファンドレイジング・スクール

独自開発の研修の受講

その5

スクール期間中

協会主催の研修・イベントが

全て無料で参加可能

(但し、他団体主催、チャプター主催のイベントは対象外)

その6

社会のお金の流れを変える

トップリーダーとのダイアログ

ファンドレイジング・スクール で成長する人の3つの特徴

その1

スクール期間中に
ファンドレイザーとして絶対に
成長する意志を持っている

その2

他のスクール生に対し、
全力でアドバイスをしている

その3

将来に向けて
自分なりの役割を
見つけようとしている

ファンドレイザーの

成長ステップと

認定資格とスクールの位置づけ

ファンドレイザーの成長ステップ

エントリー

- ファンドレイジングに関心がある
- 寄付の手法のいくつかを知っている

未経験者でも
取得可能

コア

- ファンドレイジングの基礎的な知識を理解している
- 担当する組織の事業、組織、財産の一部を理解している

准認定ファンドレイザー
取得レベル

アドバンス

- ファンドレイジングの応用的な知識を有し、実践することができる
- 担当する組織の事業、組織、財産の全体を見ている
- ファンドレイジングの戦略をつくり、目標をたてることができる

有償実務経験
3年が必要

認定ファンドレイザー
取得レベル

エキスパート

- ファンドレイジングの先進的、革新的な知識を生み出している
- 担当する組織の事業、組織、財産の全体を見て、ボトルネックを把握している
- ファンドレイジングのPDCAサイクルをつくり、結果を出す仕組みが作れる



対応する認定資格とスクール

エントリー

コア

アドバンス

エキスパート

ファンドレイ
ジング入門

選択研修

認定講師

ファンドレイジング
スクール

准認定
必修研修・試験

認定
必修研修・試験

准認定ファンドレイザー
取得レベル

認定ファンドレイザー
取得レベル



実践力を習得する
3つのメソッド

認定資格制度

体系的な
知識の習得

准認定ファンドレイザー
必修研修

准認定ファンドレイザー
試験

選択研修

認定ファンドレイザー
必修研修

認定ファンドレイザー
試験

×

経験
からの学び

アドバンス研修

アドバンス研修

スクール独自開発の研修

×

実践に
よる定着

応用ゼミ

少人数限定ゼミ

- ・リアルケーススタディ
- ・自団体の戦略作成
- ・コンサルタントの伴走

ファンドレイジング・スクール

本物の実践力をあなたに Fundraising School

認定資格制度

体系的な
知識の習得

准認定ファンドレイザー
必修研修

准認定ファンドレイザー
試験

選択研修

認定ファンドレイザー
必修研修

認定ファンドレイザー
試験



ファンドレイジング・スクール

本科コース生特典 スクール期間中に

- ・(6月 or 12月実施) 准認定ファンドレイザー試験
- ・(9月 or 10月実施) 認定ファンドレイザー必修研修

を無料で1回受講・受験することができます。

本科コース生特典

スクール期間中に日本ファンドレイジング協会が主催する研修・イベントは無料で参加することができます。

※但し、他団体やチャプター主催の研修は対象外

本科コース生特典

スクール期間中に認定ファンドレイザー試験を受験する場合、有償実務経験2年以上のスクール生は試験申し込み時点のスクール出席状況を踏まえて、「『スクール修了見込み』として有償実務経験1年分を付与し、受験することができます。」

求められる5つの能力		カテゴリ	アドバンス研修	選択必修
① 実行と実践力	② 知識とスキル	マーケティング	1講座	※対面の研修とオンライン研修の両方をご用意します
		広報・ITコミュニケーション	1講座	
		寄付・会費プログラム	1講座	
		助成金	1講座	
		収益事業		★
		企業・行政連携		★
		社会的投資・融資	CFR必修研修	
		評価		★
	③ マネジメント・コミュニケーション	戦略設計力の強化	1講座	
		組織管理		★
		会計・税務・法務・リスク管理		★
	④ 対人コミュニケーション	コミュニケーション強化		★
	⑤ 誇りと倫理	リーダーシップ・誇りと倫理	1講座	
①②③④⑤		応用ゼミ(15回)		

合計:56.5時間以上
(全21コマ、2時間/1講座)

スケジュールイメージ

インプット

アウトプット

開校式

修了式

4
月

5
月

6
月

7
月

8
月

9
月

10
月

11
月

12
月

1
月

応用ゼミ

FR戦略立案①

FR戦略立案②

リアルケーススタディ(4回)

キャリア

戦略レビューの会(4回)

リーダーズセッション

リーダーズセッション

ベストプラクティス・ワークショップ

リーダーズセッション

アドバンス研修

マーケティング

ITコミュニケーション

誇りと倫理

戦略設計

助成金

寄付・会費プログラム

選択必修

【「選択研修」から
選択受講】

【「選択研修」から選択受講】

その他

ACFR
試験

自団体
レポート作成

CFR
試験

最終
レポート

CFR必修研修

個別カウンセリング

25

32

開催場所・時間帯について

開催場所

お茶の水、日比谷、九段下、飯田橋、
神保町等

時間帯

- ・ 土曜日、日曜日の午前／午後
- ・ 平日の19:00～21:00

その他

事前課題について

各アドバンス研修には事前学習を行い提出して頂きます。目安学習時間は1時間～2時間を想定しています。

リアルケーススタディ

実団体へファンドレイジング戦略の提案を行います。グループにて課外での作業時間が発生します。目安3時間～5時間

その他

選択必修の受講に際して

受講した選択必修から、得た学びや気づきを記入するシートに記入・事務局に提出。

本科コース内容：

- ・ アドバンス研修（6講座）
- ・ 選択必修（6講座）
- ・ ゼミ（15回）
- ・ 准認定ファンドレイザー試験（1回分）
- ・ 認定ファンドレイザー必修研修（1回分）
- ・ 特典：
 - 日本ファンドレイジング協会主催の研修・イベントの無料参加
 - 出席状況を踏まえて、有償実務経験1年分の付与（12月の認定試験を受験する場合）

本科コースについて

体系的な知識の習得 × 経験からの学び × 実践による定着

実践力を習得するための
オールインクルーシブな学びの場が
ファンドレイジングスクール
本科コースです。

本科コースの内容

- ・ 准認定ファンドレイザー試験の受験
 - 2019年開催の准認定ファンドレイザー試験を無料で1回受験できます。 5,000円相当
- ・ 認定ファンドレイザー必修研修の受講
 - スクール期間中、無料で1回受講することができます。 60,000円相当
 - 認定ファンドレイザー試験費用は別途となります。
 - 認定ファンドレイザーの方は、再受講の必要はありません
- ・ アドバンス研修・選択必修全講座の受講とゼミへの参加
 - アドバンス研修6講座を受講することができます。 35,000円相当
 - 選択必修6講座を受講することができます。 18,000円相当
 - 全15回のゼミに参加することができます。 112,500円相当
- ・ スクール以外の研修やイベントの無料受講
 - 協会主催の研修約24講座 74,000円相当
 - FRJなどの協会主催イベントにも無料で参加が可能です。 61,000円相当
 - ※他団体主催、チャプター主催のみ対象外
- ・ アドバンス研修の受講権利（2年間）
 - 欠席しても次年度の開催分に参加可能
- ・ 修了後、有償実務経験（1年）の付与 ※12月の認定試験を受験する場合は、「修了見込み」として有償実務経験（1年）が付与されます
- ・ 修了後、認定・准認定ファンドレイザー資格更新に必要な20ポイント付与

合計
361,500円
相当

本科コース料金

- ・ 准認定ファンドレイザー必修研修受講者： 25万円（税別）
- ・ 准認定ファンドレイザー資格取得者： 25万円（税別）
- ・ 認定ファンドレイザー資格取得者： 20万円（税別）

費用に含まれているもの（但しスクール期間中に限る）

- ・ アドバンス研修（6講座）の受講費用
- ・ 選択必修（6講座）の受講費用
- ・ 応用ゼミ（15回）の参加費用
- ・ 准認定ファンドレイザー試験費用（1回分）
- ・ 認定ファンドレイザー必修研修費用（1回分）、但し認定ファンドレイザー資格取得者の方は再受講の必要はありません
- ・ jfra主催の研修・イベントへの参加費用（スクール期間中無制限）

入学資格

本科コース：

- 准認定ファンドレイザー必修研修受講済みであること。
- 「履歴書」「職務経歴書」「エッセイ」の協会の審査を通過した方。
- 勤務、理事、プロボノ、ボランティアなどで関わりのある非営利活動団体の現場を持っていること。
- アドバンス研修、選択必修、応用ゼミ、認定ファンドレイザー必修研修等に参加できること。※「選択必修」のみ、オンライン講座をご用意しております。
- 日本ファンドレイジング協会が定めた方法で申込み、期日までに支払が完了していること。

本科コース募集内容

- スクール期間：2019年4月～2019年12月
- 募集人数：30名
- 募集締切：
 - 1回目：選考締切り2/8(金)結果発表 2/15(金)
 - 2回目：選考締切り3/1(金)結果発表 3/8(金)
 - 3回目：選考締切り3/29(金)結果発表 4/5(金)
 - 4回目：選考締切り4/10(水)結果発表 4/12(金)
- 支払い方法：
 - ・一括払い or 年5回（約2か月ごと）の分割払い
 - ・「カード」「郵便振替」「コンビニ払い」

本科コース修了要件

- アドバンス研修の8割以上の出席
- 応用ゼミの8割以上の出席
- 選択必修を8割以上受講
- 認定ファンドレイザー必修研修の受講（スクール生に限って有償実務経験が3年未満でも受講が可能です）※既に受講済の方は改めて受講する必要はありません。
- 応用ゼミで作成するファンドレイジング戦略レポートの提出

本科コース申し込み方法

<http://jfra.jp/school/requirements/>



スクールの
の概要

学びの場
マップ

開催
スケジュール

講師紹介

募集要項

資料請求
申込

募集要項 / Outline
ファンドレイジング・スクール
2017年度募集要項

● 募集要項 ● よくあるご質問 (FAQ)

募集要項	
スクール期間	2017年5月～2017年12月予定
開催地	東京
募集人数	20名
募集締切	1回目 遠征締切 2/3 (金) 結果発表 2/17 (金) 2回目 遠征締切 3/10 (金) 結果発表 3/24 (金) 3回目 遠征締切 3/31 (金) 結果発表 4/14 (金)
費用	遠征費(ファンドレイザー) 20万円 (税別) 認定ファンドレイザー 15万円 (税別) 費用に含まれているもの (税別・スクール期間中に限る) ・受講料 (10回) の学費 ・遠征費(ファンドレイザー) 2017年6月開催分、但し認定ファンドレイザー 15万円 (税別) の方は参加の必要はありません。 ・認定必修研修費用 (1回分)、但し認定ファンドレイザー 15万円 (税別) の方は参加の必要はありません。 ・遠征研修費用 (スクール期間中限定) ・イベント参加費用 (スクール期間中限定)
支払方法	・カード、郵便振替、コンビニ払い ・一括払い、年割 (お月ごと) の分割払い
入学資格	・遠征費(ファンドレイザー) 必修研修受講済みであること。 ・入学申込みの際に提出する「履歴書」「職務経歴書」「エッセイ」について、内容の審査を通じた方。 ・数回、理事、プロボノ、ボランティアなどで関わりのある非営利活動団体の関係を持っていること。 ・スクール期間中、終了のために必要となるアドビンス研修、応用ゼミ、認定ファンドレイザー必修研修等に参加できること。 ※オンライン受講等の遠隔参加の仕組みは今回は用意していません。 ・日本ファンドレイジング協会認定の方法で申込み、科目までに完了していること。
終了条件	・アドビンス研修の8割以上の出席 ・応用ゼミの8割以上の出席 ・認定ファンドレイザー必修研修の受講 (スクール生に比べて専業業務経験が3年以上でも受講が可能です) ※履修申請の方法が変更される場合があります。 ・応用ゼミで作成するファンドレイジング戦略レポートの提出

● スクールに申し込み

募集要項

スクールに申し込む

＜入学までの流れ＞

1. 募集要項
2. スクールに申し込む
3. フォームに情報入力
4. 履歴書、職務経歴書、エッセイを提出
5. 審査結果を待つ
6. 決済URLよりお支払
7. 入学確定

参考資料

1. よくあるご質問（FAQ）
2. 研修カリキュラム
3. 講師紹介
4. スクール生の業種（1期・2期・3期）

(参考資料) よくあるご質問

Q. 非営利団体の現場を持っていないのですが...?

A. これまでのスクール生では、イベントの現場で初めて知り合った団体を対象団体として、スクールを修了された方もいます。

また、日本ファンドレイジング協会の関連する非営利団体をマッチングすることも検討中ですので、事務局までご連絡ください。

(参考資料) よくあるご質問

Q. これまでの協会主催の選択研修とスクールの講座の違いは何ですか？

A. 通常の研修はファンドレイジングを行う上で押さえておくべきポイントを、テーマ毎に学びを深めていくことを目的としています。

一方、スクールの各講座は、ケーススタディや自団体の事例を用いて具体的なファンドレイジング戦略の立案に関連した内容で、実践力をつけていくことを目的としています。

(参考資料) よくあるご質問

Q. ついていけるか心配なのですが...

A. ケーススタディと自団体の戦略作成・実施が学びの中心となります。
准認定ファンドレイザー必修研修で得た知識を用いて、考え、仲間と議論し、作り上げていく中で実践力がついていき、ゼミ講師が不安のある方を適宜サポートする体制を整えております。

(参考資料) 研修カリキュラム

カテゴリー	研修タイプ	講師	内容
マーケティング	アドバンス研修	長浜洋二	ファンドレイジング戦略を作成するためには、課題を認識し、環境分析を行い、ターゲットやポジショニングを明確にするマーケティングが不可欠です。本講座では戦略作成に不可欠なフレームを知り、活かせるようになることを目標としています。
戦略設計力	アドバンス研修	山元圭太	作成したファンドレイジング戦略が受け入れられ、実行に移されるためには、団体のビジョンやミッションにどれだけ基づいているかが重要となります。本講座では、これまで多くの団体でファンドレイジング戦略を作成、実施してきたコンサルタントを講師に招き、実例をふまえて習得していきます。
寄付・会費プログラム	アドバンス研修	山元圭太	寄付・会費のプログラムを設計するにあたり、「ドナーピラミッド」と「ステークホルダーピラミッド」を明確に区別し使い分けることは重要なスキルとなります。本講座ではケースと自団体のワークをする中で、こうした寄付・会費のプログラム設計で重要なスキルを習得していきます。
ITコミュニケーション	アドバンス研修	鎌倉幸子	寄付プロジェクトを立ち上げ、成功させるためには、既存支援者や潜在支援者に対するコミュニケーションがとても重要となります。クラウドファンディングを事例に、プロジェクトの準備、立ち上げ、コミュニケーションの一連の流れを理解し実施できるようになる講座です。

(参考資料) 研修カリキュラム

カテゴリー	研修タイプ	講師	内容
収益事業	選択必修	徳永洋子	国際協力、福祉、まちづくり、人権、雇用支援、災害救援支援、中間支援などNPOが扱う事業には、それぞれ収益モデルがあります。このプログラムでは様々な分野の方々をお呼びして事例をきくことで、成功する収益モデルについて学びを深めていきます。
企業・行政連携	選択必修	山田心	NPOは社会課題の解決のために、企業や行政といった「枠」を超えて活動しています。そのため、ファンドレイザーにも各セクターとの連携を視野に入れて活動できることが求められます。法人寄付をもらう、行政から委託事業をもらうだけでなく、包括的な関係性をつくり、連携を深めていく実践について理解することができるプログラムです。
評価	選択必修	鴨崎貴泰	寄付者に対して、頂いた寄付をどの活動に使い、その活動が社会にどれだけ影響を与えたかを説明することは、これからますます必要になってきます。そうした社会的インパクト評価の基本やトレンドを講義で学んだ後で、実際にロジックモデルを作成し、講師よりフィードバックをもらいながらブラッシュアップしていきます。

(参考資料) 研修カリキュラム

カテゴリー	研修タイプ	講師	内容
組織管理	選択必修	早瀬昇	ファンドレイジング計画を着実に実行していくためには、担当しているNPOが組織としてどの成長段階にいるかを把握する必要があります。設立したばかりの小規模な組織でも、歴史のある大規模な組織でも成長段階に適したファンドレイジング計画を考えることができるようになるプログラムです。
社会的投資・融資	ゼミ	鴨崎貴泰	事業拡大や経営の安定性を高めるためには、寄付や会費、助成金以外にまとまった額の資金調達を外部から行うことが必要です。社会的事業に取り組むNPOやソーシャルビジネスだからこそできる社会的投資や融資による資金調達について、具体的な手法も含めて学びます。

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



●応用ゼミ担当、
失敗の事例から学ぶファンドレイジングの本質担当

鵜尾雅隆
認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
代表理事



●戦略設計力講座、寄付・会費プログラム講座

山元圭太
合同会社喜代七 代表



●ITコミュニケーション講座担当

鎌倉幸子
アカデミック・リソース・ガイド株式会社リレーションズ・ストラテジスト
かまくらさちこ株式会社 代表取締役

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



● 応用ゼミ担当

鴨崎貴泰

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
事務局長



● マーケティング講座担当

長浜洋二

准認定ファンドレイザー



● 助成金講座担当

山田泰久

NPO法人CANPANセンター
代表理事

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



●応用ゼミ担当

浅井美絵

フリーランスファンドレイザー



●応用ゼミ担当

イノウエヨシオ

株式会社ファンドレックス

ファンドレイジング・プロデューサー



●応用ゼミ リーダーズセッション担当

深尾昌峰

プラスソーシャルグループ代表

(参考資料) アドバンス研修・応用ゼミ担当講師紹介



●応用ゼミ リーダーズセッション担当

米良はるか
READYFOR株式会社
代表取締役 CEO



●応用ゼミ リーダーズセッション担当

宮城治男
NPO法人 ETIC.
代表理事

(参考資料) スクール生の業種 (1期・2期・3期)

1期生		2期生		3期生	
NPO	1	NPO	1	NPO	7
財団法人	1	財団法人	3	財団法人	3
社団法人	2	社団法人	1	社団法人	2
士業	1	士業	1	企業	8
企業	5	企業	5	学校	4
任意団体	1	任意団体	1	個人事業主	1
個人事業主	1	個人事業主	1		合計25名
	合計12名	行政	3		
			合計16名		

※各期のスクール生はそれぞれ、勤務、理事、プロボノ、ボランティアなどで関わりのある非営利活動団体があり、スクールに臨まれています。